

# Technics®



写真はシルバー色の製品です。

## 取扱説明書

DJ ミキサー

品番 SH-MZ1200



上手に使って上手に節電

### 保証書別添付

このたびは、DJ ミキサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(4~5ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT7229-2S

# 主な特長

ダイレクトドライブ デジタルターンテーブルSL-DZ1200（別売り）との接続・連携を可能にし、新しい演奏性を提供する4チャンネル汎用タイプ、DJ指向のDJ ミキサーです。

## 充実の基本性能

### ■充実した入出力

- CD/LINE-2系統、LINE-3系統、PHONO-3系統、マイク-2系統、デジタル-2系統の12入力を用意しました。
- プロ仕様のキャノン端子を含むマスター出力1、2の3系統とヘッドホンのほか、モニター出力、録音出力、デジタル出力を独立して装備。
- さらに外部エフェクターに対してもEFFECT SEND、EFFECT RETURN端子を設けました。

### ■あらゆるサウンド・ソースに対応し、3バンドイコライザーを搭載

- 各チャンネルにHIGH、MID、LOWのイコライザーを搭載。減衰量を-24 dB（12 dB/oct）と大きく設定していますので、多様な音創りが可能です。

### ■プレイ操作に対応し、充実したモニター

- 各チャンネルとエフェクトにCUEボタンを装備したことで、聴きたいチャンネルが即座にモニターできます。
- MONITOR MIXINGつまみによりCUEボタンで選択したチャンネルとマスター出力のミキシングができ、MONO SPLIT MODEによりCUEボタンで選択したチャンネルとマスター出力を左右に振り分けてモニターすることが可能になりました。

### ■外部エフェクターにも対応

- SEND、RETURNのレベルコントロールとPRE/POST切換および各チャンネルごとのEFFECTオン、オフが可能です。

### ■操作性と堅牢性を追求したデジタルコントロールのフェーダー部

- クロスフェーダーにC. FADER CURVE選択つまみを搭載したことで3種類のカーブ設定ができ、多様なクロスフェードが可能になりました。
- 各チャンネルフェーダー、クロスフェーダーにリバース設定つまみを設けました。
- マイコンによるVCA制御を採用していますので、音質劣化の少ないチャンネルフェーダー、クロスフェーダーの音量コントロールができます。
- 高い耐久性と滑らかな操作感を実現した45 mmストロークのフェーダーと、光方式クロスフェーダー回路を採用することによりクロスフェーダーの信頼性を向上させています。

## チャンネルフェーダー、クロスフェーダーによる新しい演奏性を提供

### ■チャンネルフェーダーによるL、R分割コントロール

- PLAY MODE機能の搭載で選択されたチャンネルのL、Rを分割し、チャンネルフェーダーによるL、R個別の音量コントロールを可能にしました。

### ■マスター1、2の2系統出力で出力先（フロント、リア）をコントロール

- SEPARATE OUT機能をオンにすると、CH1およびCH2をフロントへCH3およびCH4をリアへ分割して出力することができ、L、R分割調整機能と組み合わせて音場をコントロールする新しい演奏が可能となりました。

## ダイレクトドライブ デジタルターンテーブルとの接続・連携プレイ

### ■フェーダー操作でデジタルターンテーブルをリアルタイムにスタート、ストップ制御

- ミニコードでデジタルターンテーブルを接続し、チャンネルフェーダー操作またはクロスフェーダー操作でデジタルターンテーブルをスタート、ストップできます。
- 2系統のデジタル入力により、デジタルターンテーブルを最大2台デジタルで直結できます。

# もくじ／付属品

もくじ

主な特長

## ご使用の前に

- ② 主な特長
- ③ 付属品
- ④ 安全上のご注意

## 準備

- ⑥ 各部のなまえ
- ⑧ 接続
  - ⑧ 出力側の接続
  - ⑨ 入力側の接続

## 使いかた

- ⑩ ミキシングする（基本の操作）
  - ⑪ マイクを使う
  - ⑪ 外部の機器で録音、再生する
- ⑫ ミキシングの補助操作をする
  - ⑫ エフェクトを調整する
  - ⑫ モニターを調整する
- ⑬ プレイモード機能を使う
  - ⑬ 左（L）、右（R）入力を分割調整する
  - ⑬ セパレート（2系統）出力する
- ⑭ フェーダースタート機能を使う
  - ⑭ チャンネルフェーダーでスタートする
  - ⑭ クロスフェーダーでスタートする

## 必要なとき

- ⑮ ブロックダイヤグラム
- ⑯ 主な仕様
- ⑯ お手入れ
- ⑰ 故障かな!?
- ⑰ 保証とアフターサービス
- ⑱ さくいん
- 裏表紙 別売り品のご紹介
- 裏表紙

ご使用の前に

準備

使いかた

必要なとき

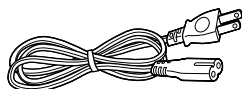
もくじ／付属品

付属品



まず最初に付属品を確かめてください。  
付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。  
( ) 内は買い替え時の品番を表します。

- 電源コード.....1本  
(品番：K2CA2CA00019)



お願い

付属の電源コードは、本機専用です。  
他の機器に使用しないでください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



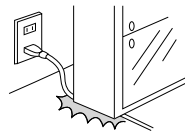
このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

### 電源コードについて

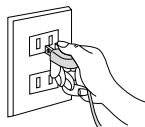
#### 電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



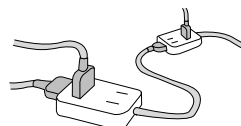
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

#### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



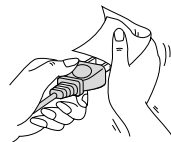
- 差し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

#### コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

#### 電源プラグのほこり等は定期的にとる



- プラグにほこり等がたまり、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

#### ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止



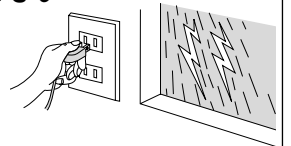
- 感電の原因になります。

### 雷について

#### 雷が鳴ったら、機器やプラグに触れない



接触禁止



- 感電の恐れがあります。

### もし異常が起これば

#### 異常があったときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- 機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

## 警告

### ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

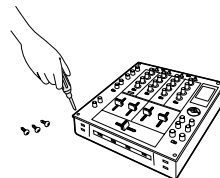


- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない



分解禁止



- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

## 注意

### 設置について

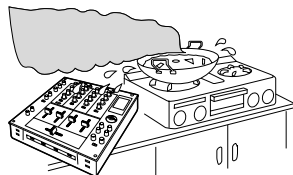
不安定な場所に設置しない



- 上に大きなもの、重いものを載せない
- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

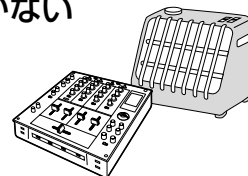
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや、湿気やほこりの多いところに置かない



- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

### ご使用について

コードを接続した状態で移動しない



- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

機器に乗らない



- 機器が破損してけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

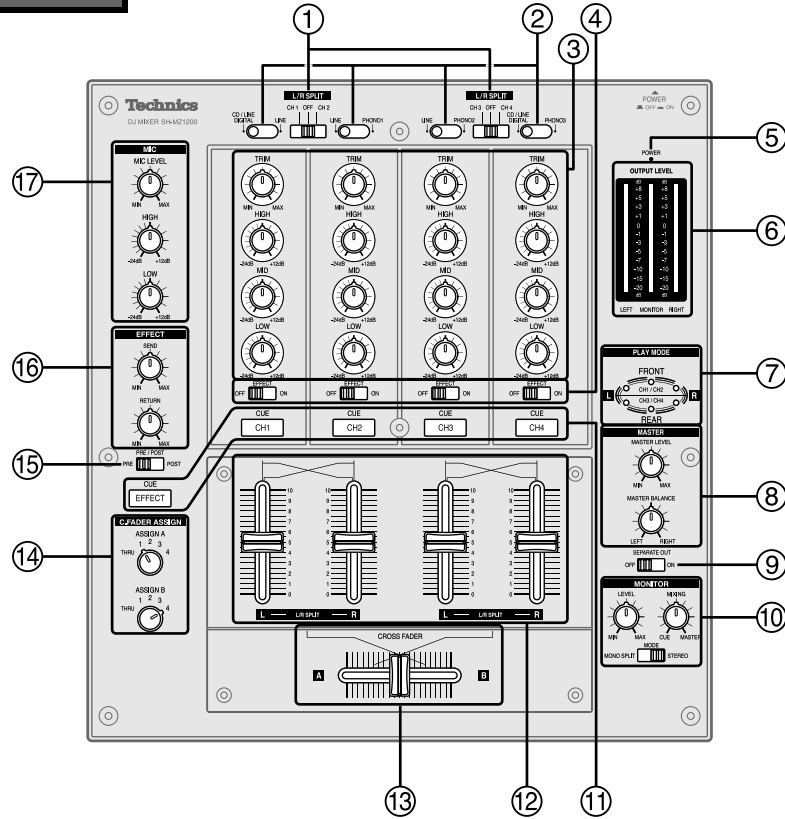


- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

# 各部のなまえ

①などの数字はイラスト番号、⑩などの数字は参照ページです。

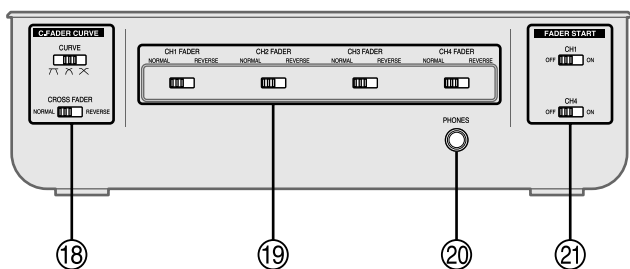
## 本体上面



- ① L/R SPLIT (左右分割調整入力選択) つまみ … ⑩ ⑬  
スプリット
- ② 入力切替 (CH1～CH4) つまみ … ⑩  
ライン デジタル  
CD/LINE DIGITAL :  
CDまたはライン入力、デジタル入力  
ライン  
LINE : ライン入力  
PHONO 1～3 : ターンテーブルフォノ入力
- ③ 入力コントロール (CH1～CH4) つまみ … ⑩  
トリム  
TRIM (レベル調節) つまみ  
ハイ (高域音質調節) つまみ  
ミッド (中域音質調節) つまみ  
ロー (低域音質調節) つまみ
- ④ EFFECT (CH1～CH4接続切替) つまみ … ⑫  
エフェクト
- ⑤ POWER (通電) ランプ … ⑩  
パワー
- ⑥ OUTPUT LEVELメーター … ⑩ ⑫  
アウトプット レベル
- ⑦ PLAY MODEランプ … ⑬  
プレイ モード
- ⑧ MASTER出力コントロールつまみ … ⑩  
マスター  
MASTER LEVEL (音量調節) つまみ  
MASTER BALANCE (調節) つまみ
- ⑨ SEPARATE OUT (ON、OFF切替) つまみ … ⑬  
セパレートアウト オン オフ切替

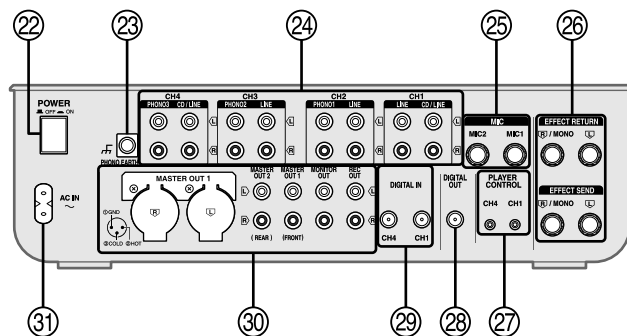
- ⑩ MONITORコントロールつまみ … ⑫  
モニター  
レベル  
LEVEL (音量調節) つまみ  
ミキシング  
MIXING (調節) つまみ  
モード  
MODE (モニター切替) つまみ
- ⑪ CUE (モニター選択) ボタン・表示ランプ … ⑫  
キュー  
CH1～CH4 : CH1～CH4のモニター選択  
エフェクト  
EFFECT : エフェクターのモニター選択
- ⑫ チャンネルフェーダー (CH1～CH4) … ⑩ ⑭  
チャンネルフェーダー
- ⑬ CROSS FADER … ⑩ ⑭  
クロスフェーダー
- ⑭ C. FADER ASSIGN A、B (選択) つまみ … ⑩ ⑭  
クロスフェーダーアサイン
- ⑮ PRE/POST (エフェクター出力切替) つまみ … ⑫  
プリポスト
- ⑯ EFFECT (入出力調節) つまみ … ⑫  
エフェクト  
SEND (出力調節) つまみ  
リターン  
RETURN (入力調節) つまみ
- ⑰ MIC入力コントロールつまみ … ⑪  
マイク  
MIC LEVEL (音量調節) つまみ  
ハイ  
HIGH (高域音質調節) つまみ  
ロー  
LOW (低域音質調節) つまみ

本体前面



- ⑱ クロス フェーダー カーブ  
C. FADER CURVEコントロールつまみ …… ⑩ ⑪  
カーブ  
CURVE (選択) つまみ  
クロス フェーダー  
CROSS FADER (操作切換) つまみ
- ⑲ CH1~CH4 フェーダー  
CH1~CH4 FADER (操作切換) つまみ …… ⑩
- ⑳ ホーンズ  
PHONES (ヘッドホン) 端子 …… ⑧
- ㉑ フェーダー スタート オン、オフ  
FADER START (ON、OFF切換) つまみ …… ⑭

本体後面



- ㉒ パワー  
POWER (電源) ① OFF ② ON ボタン …… ⑩
- ㉓ フォノ アース  
PHONO EARTH (ターンテーブルアース) 端子 …… ⑨
- ㉔ CH1~CH4 (入力) 端子 …… ⑨  
CD/LINE : CDまたはライン端子  
ライン  
LINE : ライン端子  
フォノ  
PHONO 1~3 : ターンテーブルフォノ端子
- ㉕ マイク  
MIC1~MIC2 (入力) 端子 …… ⑨
- ㉖ エフェクト リターン、エフェクト センド  
EFFECT RETURN、EFFECT SEND  
(エフェクター入出力) 端子 …… ⑧
- ㉗ プレーヤー コントロール  
PLAYER CONTROL (CH1、CH4) 端子 …… ⑨
- ㉘ デジタル アウト  
DIGITAL OUT (出力) 端子 …… ⑧
- ㉙ デジタル イン  
DIGITAL IN (CH1、CH4入力) 端子 …… ⑨
- ㉚ 出力端子 …… ⑧  
マスター アウト  
MASTER OUT 1、2端子  
モニター アウト  
MONITOR OUT端子  
レック アウト  
REC OUT端子
- ㉛ AC IN ~ (電源入力) 端子 …… ⑨

準備

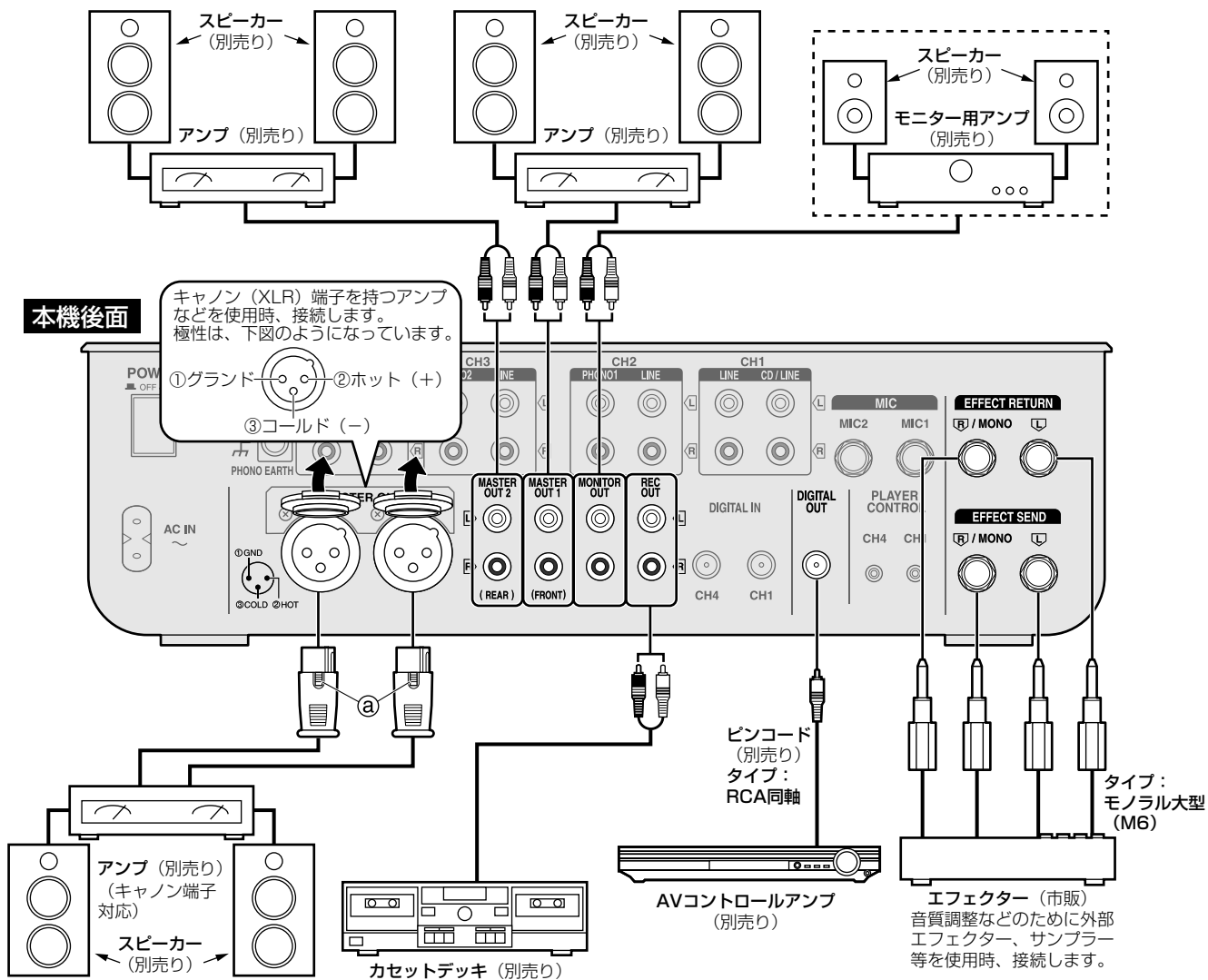
# 接続

## 出力側の接続

ステレオピンコード、ピンコード（各、別売り）および機器に適合したコードで本機と各機器を接続します。接続時には必ず各機器の電源を切ってください。

### ステレオピンコードの接続は

白色は左 (L) 端子へ  
赤色は右 (R) 端子へ



### ■キャノン (XLR) 端子へ接続するには

- キャノン (XLR) 端子のフタを開け、端子の極性に合わせてキャノン (XLR) プラグ (市販) をロックするまで差し込んでください。
- 取り外すときは、キャノン (XLR) プラグの上のノブ Ⓐ を押して抜いてください。
- 取り外したあとキャノン (XLR) 端子のフタは、中央部を押してしっかり閉めてください。

### ■モノラル入力のエフェクターを使用するときは

- R/MONO端子に接続します。
- エフェクターには左 (L) と右 (R) のミックスされた信号が出力され、エフェクターからの信号は左 (L) と右 (R) 両方の信号が入力されます。

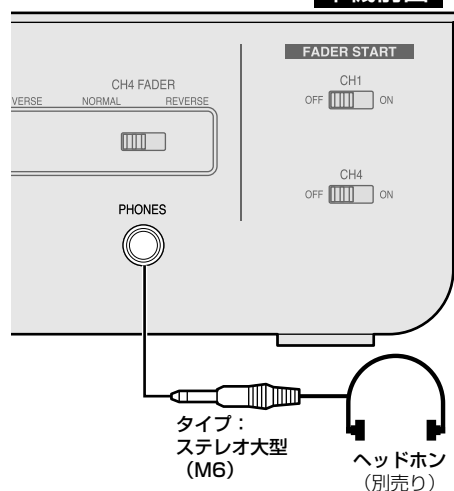
### ■ヘッドホンで聞くとときは

- MONITOR LEVELつまみなどで、必ず音量を絞ってから接続してください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

### お知らせ

関連する別売り品の一部は裏表紙の「別売り品のご紹介」をご参照ください。

### 本機前面





## 入力側の接続

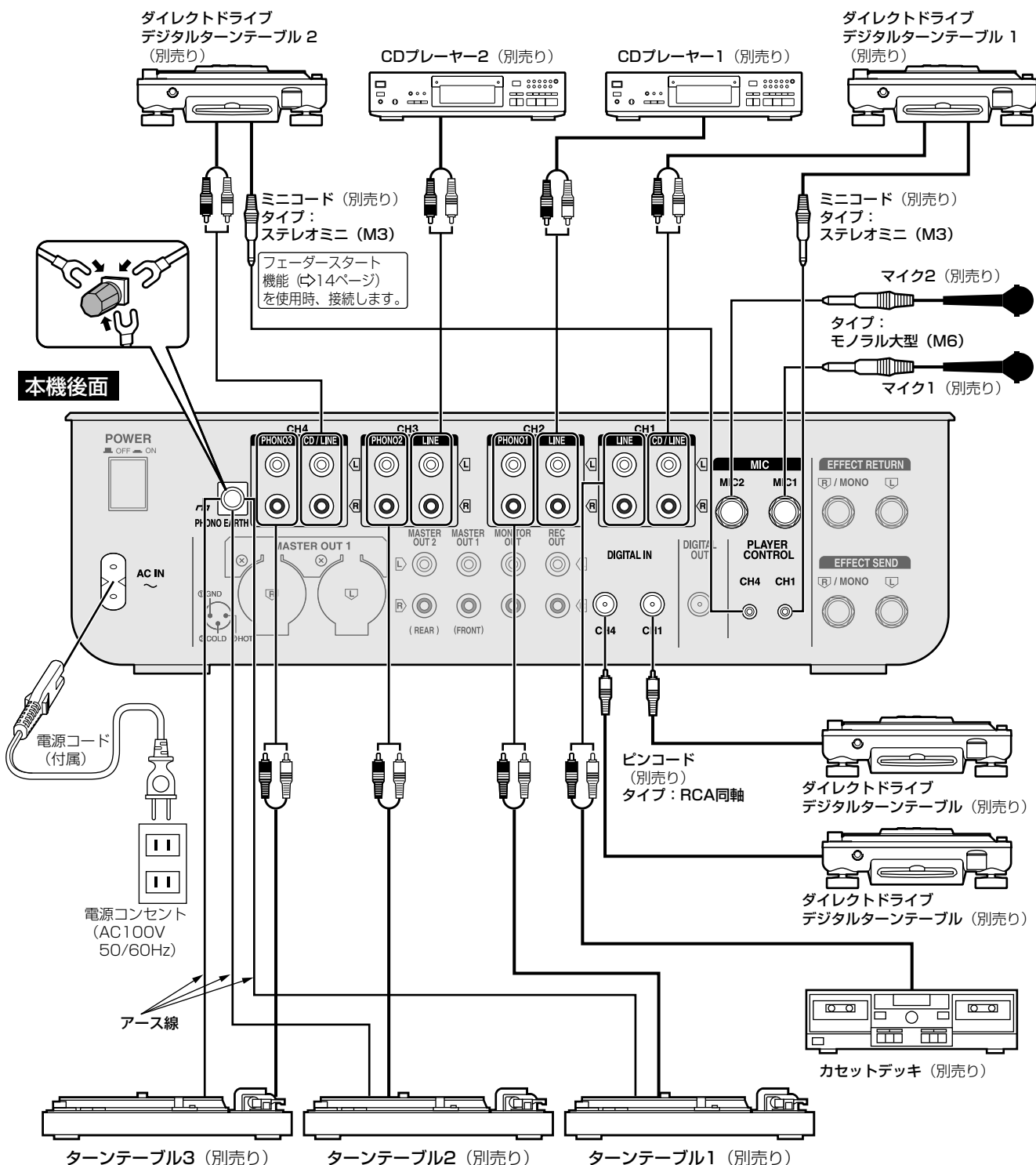
ステレオピンコード、ミニコードおよびピンコード（各、別売り）で本機と各機器を接続します。

電源コードの接続は、全ての接続が終わった後に行ってください。

本機の電源コード用接続端子（AC IN ~）は後面の左側にあり、縦に接続する仕様になっています。図のように正しく接続してください。

本機後面のPLAYER CONTROL端子への接続は別売りの直接ドライブ デジタルターンテーブルに限り動作ができます。

他社製品のCONTROL端子と接続した場合、正常に動作しない、または機器が故障することがあります。

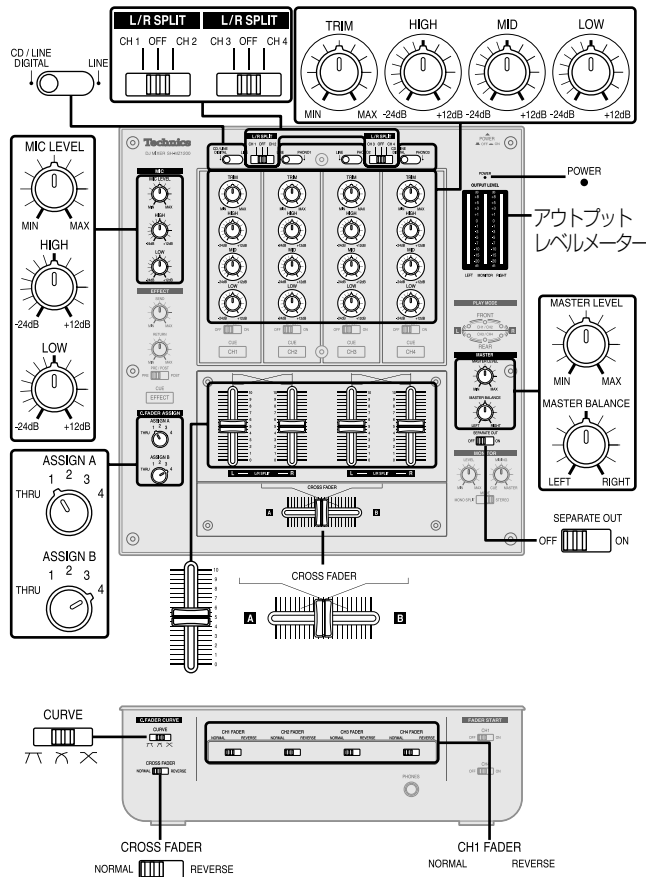


準備

### お知らせ

アース端子およびアース線のないターンテーブルの場合、アース線の接続は不要です。

# ミキシングする (基本の操作)



## 電源を入れる



を押す

電源が入り、POWERランプが点灯します。

## ■アウトプットレベルメーターの表示について

- 選択したCH1～CH4のミックスされた左 (L) と右 (R) の音量レベルがアウトプットレベルメーターのLEFTとRIGHTに表示されます。  
表示範囲：-20～+8 dB
- MASTER LEVELおよびMASTER BALANCEを変えてもアウトプットレベルメーターの表示は変わりません。

**1** L/R SPLIT CH1 OFF CH2 CH3 OFF CH4 を切り換えて、OFFにする



**2** SEPARATE OUT OFF ON を切り換えて、OFFにする



CH1入力の場合

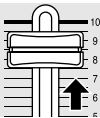
**3** CD / LINE DIGITAL LINE を切り換えて、ソースを選ぶ



**4** TRIM HIGH MID LOW を回して、入力信号レベル、音質を調節する



**5** を動かして、音量を調節する



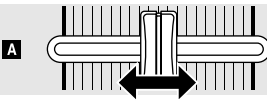
CH2～CH4のソースを選択し、音量、音質を調整する

(上記手順**3**～**5**)

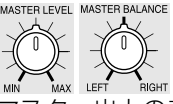
**6** クロスフェーダー使用時 ASSIGN A ASSIGN B THRU 1 2 3 4 THRU 1 2 3 4 を回して、A、Bに割り当てる入力チャンネルを選ぶ



**7** クロスフェーダー使用時 A B を動かして、ミックス量を調節する



**8** MASTER LEVEL MASTER BALANCE を回して、音量、バランスを調節する  
マスター出力の音量および左 (L) と右 (R) の出力バランスを調節します。



## ■チャンネルフェーダーおよびクロスフェーダーの操作方法を変える

チャンネルフェーダーの場合は各チャンネルの操作切替つまみを切り換えます。

(例) CH1の場合



を切り換える

- NORMAL : パネル表示の通りの操作
- REVERSE : パネル表示と逆の操作

CH1またはCH2、CH3またはCH4を選択すると、プレイモードの左 (L) と右 (R) 入力の分割機能 (⇒ 13ページ) となります。

ONにすると、プレイモードのSEPARATE OUT機能 (⇒ 13ページ) となります。

CH1とCH4のCD/LINE DIGITALを選ぶと、入力がアナログ (CD/LINEのCH1、CH4入力端子)、デジタル (DIGITAL INのCH1、CH4入力端子) のいずれも入力できます。

- TRIM (トリム)** : 入力信号のレベルを調整します。  
右に回すとレベルが上がります。(約+8 dBまで)  
左に回すとレベル下がります。(約-8 dBまで)
- HIGH (ハイ)** : 入力音の高音を調整します。  
センタークリックの位置でフラットです。  
右に回すと増加します。(10 kHzで約+12 dBまで)  
左に回すと減衰します。(10 kHzで約-24 dBまで)
- MID (ミッド)** : 入力音の中音を調整します。  
センタークリックの位置でフラットです。  
右に回すと増加します。(1 kHzで約+12 dBまで)  
左に回すと減衰します。(1 kHzで約-24 dBまで)
- LOW (ロー)** : 入力音の低音を調整します。  
センタークリックの位置でフラットです。  
右に回すと増加します。(50 Hzで約+12 dBまで)  
左に回すと減衰します。(50 Hzで約-24 dBまで)

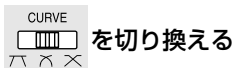
- **ASSIGN A**と**ASSIGN B**つまみは異なる入力チャンネルを選んでください。  
同じ入力チャンネルを選ぶと、クロスフェーダーを動かしても音量は変化しません。
- **ASSIGN A**は **A** に、**ASSIGN B**は **B** に割り当てられます。割り当てたチャンネル以外は、クロスフェーダーを通らずに出力されます。  
**1~4** : 割り当てるCH1~CH4  
**THRU** : クロスフェーダーを使用しないとき

**A** および **B** に割り当てたソース音は、クロスフェーダーの位置でミックス量が調節されます。

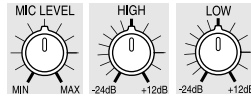
- 選択したCH1~CH4の入力ソース音がミックスされ、MASTER OUT 1の左 (L) と右 (R) 端子に出力されます。
- **MASTER LEVEL**および**MASTER BALANCE**を変えても**REC OUT**および**DIGITAL OUT**の出力は変わりません。

### ■クロスフェーダーカーブを変える

クロスフェーダーの立ち上がりカーブを3種類の中から選びます。



## マイクを使う



を回して、音量、音質を

### 調節する

MIC 1とMIC 2端子に接続したマイクの音量および音質を調節します。

**MIC LEVEL (マイクレベル)** : マイクの音量を調整します。  
(減衰量:  $-\infty \sim 0$  dB)

**HIGH (ハイ)** : マイク音の高音を調整します。  
センタークリックの位置でフラットです。  
右に回すと増加します。(10 kHzで約+12 dBまで)  
左に回すと減衰します。(10 kHzで約-24 dBまで)

**LOW (ロー)** : マイク音の低音を調整します。  
センタークリックの位置でフラットです。  
右に回すと増加します。(100 Hzで約+12 dBまで)  
左に回すと減衰します。(100 Hzで約-24 dBまで)

- MIC 1とMIC 2の音量はミックスされ、MASTER OUT 1の左 (L) と右 (R) 端子に出力されます。

## 外部の機器で録音、再生する

### 接続した機器を録音または再生操作する

#### REC OUT端子

MASTER OUT 1端子と同じソースが出力されます。

#### DIGITAL OUT端子

MASTER OUT 1端子と同じソースのデジタル信号が出力されます。

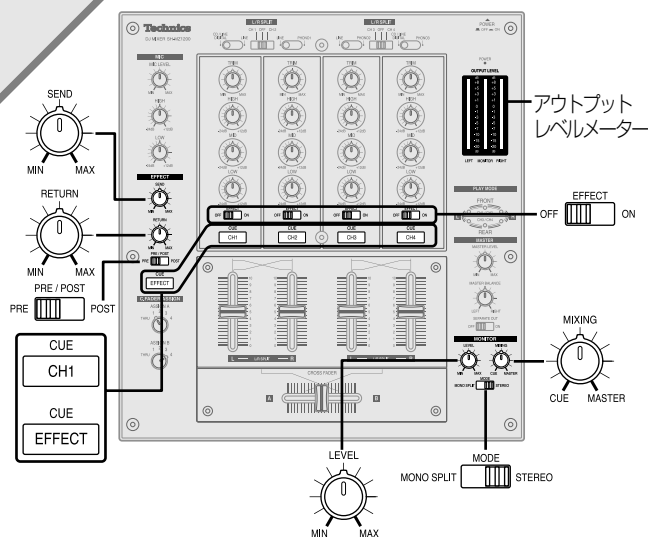
MASTER LEVELおよびMASTER BALANCEを変えてもREC OUTおよびDIGITAL OUTの出力は変わらず、録音または再生には影響しません。

### お知らせ

本機に使用しているチャンネルフェーダーやクロスフェーダーは、高寿命設計となっていますが、使用方法によっては (Hip-Hopのトランスフェープレイなど高速で頻りに操作したような場合)、交換する必要がある場合があります。

- **チャンネルフェーダーやクロスフェーダーを交換する際は販売店にご相談ください。**
- **ご購入店様へ**  
交換部品には「フェーダー交換説明書」を添付しています。  
**交換部品品番**  
チャンネルフェーダー (品番: REP3743A-S)  
クロスフェーダー (品番: REP3742A-S)

# ミキシングの補助操作をする



## モニターを調整する

プレイ中にモニター音を出して、ヘッドホンなどでミキシングしたいチャンネルの頭出し、音量調整やミキシング音の確認ができます。

### モニターするチャンネルがCH1の場合

#### 1 **CUE CH1** を押して、モニター音を出す

- 押したCUEボタンの表示ランプが点灯します。
- PHONES（ヘッドホン）およびMONITOR OUT端子にCUEボタンで選択したチャンネルのモニター音が出ます。
- 複数のCUEボタンを押すとミックスした音が出ます。

エフェクター使用時（⇨左コラム）

#### **CUE EFFECT** を押して、モニター音を出す

- EFFECT RETURN出力がモニターできます。

## エフェクトを調整する

外部エフェクターを使用時、エフェクターへの出力切り換えと音量レベル調整をします。

### エフェクト出力するチャンネルの

#### 1 **EFFECT OFF/ON** をONにする

外部エフェクターに出力されます。

#### 2 **PRE/POST** を切り換えて、出力するポイントを選ぶ

**PRE** : チャンネルフェーダーの前で出力  
**POST** : チャンネルフェーダーの後で出力

#### 3 **SEND** を回して、出力レベルを調節する

外部エフェクターへの出力音量レベルを調節します。

#### 4 **RETURN** を回して、入力レベルを調節する

外部エフェクターからの入力音量レベルを調節します。

- 入力ソース音がエフェクトされ、MASTER OUT 1端子へ出力されます。

### ■セパレート（2系統）出力時は

セパレート（2系統）出力（⇨13ページ）をしているときは、MASTER OUT 2（REAR）端子へ出力されます。

#### 2 入力を選び、入力のレベル、音質およびチャンネルフェーダー、クロスフェーダーで音量を調節する

（⇨「ミキシングする」（10ページ）手順**3**～**7**）

#### 3 **MIXING CUE MASTER** を回して、ミキシング調節する

- 右いっぱいに戻すとマスター出力の音声になります。
- 左いっぱいに戻すとCUEボタンで選択したチャンネルの音声になります。
- 中央の位置でマスター出力とCUEボタンで選択したチャンネルの音声のレベルが半々になります。
- モニター音量レベルがアウトプットレベルメーターのMONITORに表示されます。

#### 4 **MONO SPLIT/MODE STEREO** を切り換えて、モニター音の振り分けを選ぶ

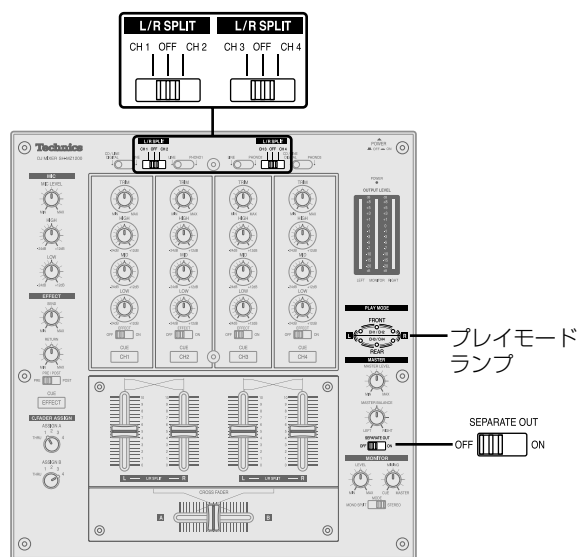
モニター音をステレオにするか、CUEボタンで選択したチャンネルを左（L）にマスター出力を右（R）に振り分けるかを選択します。

MONO SPLITにするとモニター出力はモノラルになり、左（L）側はCUEボタンで選択したチャンネルの音声、右（R）側はマスター出力されている音声になります。

#### 5 **LEVEL** を回して、モニター音量を調節する

- MASTER LEVELおよびMASTER BALANCEを変えてもモニター音は変わりません。

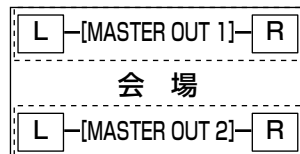
# プレイモード機能を使う



## セパレート (2系統) 出力する

SEPARATE OUT機能をオンにすると、MASTER OUT 1 (FRONT) と、MASTER OUT 2 (REAR) へ2系統出力することができます。左右分割調整やクロスフェーダーを使うとリアルタイムな演出ができます。

(例) MASTER OUT 1 (FRONT) 端子：フロントスピーカー用



MASTER OUT 2 (REAR) 端子：リアスピーカー用

## 左 (L)、右 (R) 入力を分割調整する

プレイモード機能で、選択したチャンネルの左 (L) と右 (R) の入力を分割し、音量と音質を左 (L) と右 (R) の入力ごとに調整ができます。

### 1 L/R SPLIT を切り換えて、分割調整するチャンネルを選ぶ

選択したチャンネルの入力が、パネル上の調整するチャンネルに割り当てられます。

**CH1またはCH2入力：**

左 (L) の入力がパネル上のCH1に、右 (R) の入力がパネル上のCH2に。

**CH3またはCH4入力：**

左 (L) の入力がパネル上のCH3に、右 (R) の入力がパネル上のCH4に。

- 選択したチャンネルのプレイモードランプLとRが点灯します。
- OFFを選択すると分割せずに、両方のチャンネル入力となります。プレイモードランプLとRは点灯しません。

### 2 左 (L) および右 (R) 入力のレベル、音質とチャンネルフェーダーで音量を調節する

(⇒「ミキシングする」(10ページ) 手順4～5)

**CH1またはCH2のレベル、音質、チャンネルフェーダー調節**

左 (L) の入力：パネル上のCH1の各つまみを使用

右 (R) の入力：パネル上のCH2の各つまみを使用

**CH3またはCH4のレベル、音質、チャンネルフェーダー調節**

左 (L) の入力：パネル上のCH3の各つまみを使用

右 (R) の入力：パネル上のCH4の各つまみを使用

- MASTER OUT 1の左 (L) と右 (R) 端子からミックスされたソース音が出力されます。

#### ■クロスフェーダーを使うには

- ⇒「ミキシングする」(10ページ) 手順6～7を行う
- ASSIGN AおよびASSIGN Bつまみは、上記手順1で選択したチャンネルに合わせてください。

#### ■マスター出力の音量、バランスを調節するには

- ⇒「ミキシングする」(10ページ) 手順8を行う

#### ■クロスフェーダーを使うと

- ⇒「ミキシングする」(10ページ) 手順6～7を行う
- クロスフェーダー操作切替つまみがNORMALのとき
- ASSIGN A：1または2、ASSIGN B：3または4のとき
- クロスフェーダー **A** 側いっぱい：

**A** に割り当てたソース音のみMASTER OUT 1 (FRONT) とMASTER OUT 1 (XLR) の左 (L) と右 (R) 端子から出力されます。

クロスフェーダー **B** 側いっぱい：

**B** に割り当てたソース音のみMASTER OUT 2 (REAR) の左 (L) と右 (R) 端子から出力されます。

クロスフェーダー中間位置：

**A** に割り当てたソース音はMASTER OUT 1 (FRONT) 端子とMASTER OUT 1 (XLR) 端子から、**B** に割り当てたソース音はMASTER OUT 2 (REAR) 端子から出力されます。

#### ■入力のレベル、音質とチャンネルフェーダーで音量を調整するには

- ⇒「ミキシングする」(10ページ) 手順4～5を行う

#### ■マスター出力の音量、バランスを調整するには

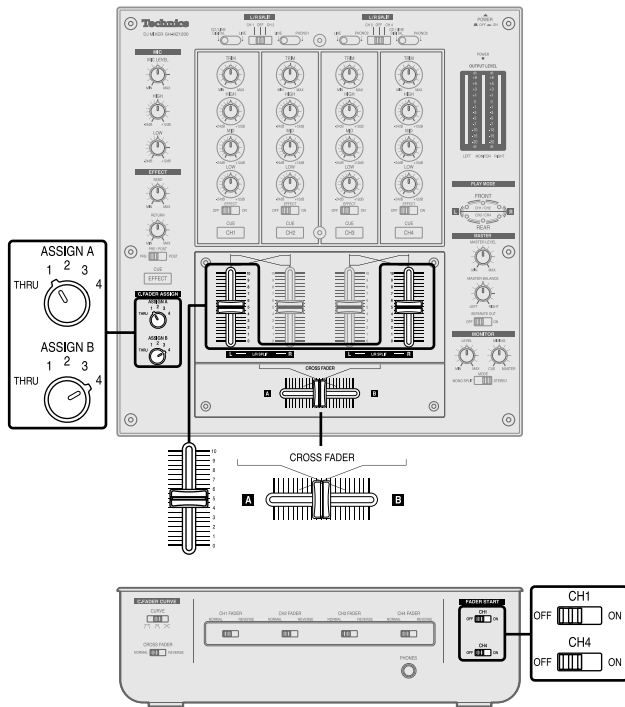
- ⇒「ミキシングする」(10ページ) 手順8を行う
- MASTER OUT 1 (FRONT) とMASTER OUT 1 (XLR) およびMASTER OUT 2 (REAR) 出力の音量、左 (L) と右 (R) のバランスを調節します。

#### ■左 (L)、右 (R) 入力を分割調整するには

- ⇒左記手順1～2を行う

# フェーダースタート機能を使う

別売りのダイレクトドライブ デジタルターンテーブル (SL-DZ1200) をCH1およびCH4に接続すると、チャンネルフェーダーやクロスフェーダーでデジタルターンテーブルの演奏をスタートすることができます。(ミニコードの接続が必要です。⇨9ページ)



- 準備：・CH1およびCH4に接続したデジタルターンテーブル後面のMODE切換つまみをTURNTABLEにする  
 ・CH1およびCH4に接続したデジタルターンテーブルにオートキューポイントまたはキューポイントを設定し、設定ポイントでスタンバイさせる

## チャンネルフェーダーでスタートする

チャンネルフェーダー操作切換つまみがNORMALで、制御したいデジタルターンテーブルをCH1に接続した場合  
 ・左 (L)、右 (R) の入力分割 (⇨13ページ) のときは、パネル上のCH1とCH2のチャンネルフェーダーで同時に下記の操作を行います。

- 1 **ASSIGN A** 1 2 3 4 を切り換えて、1以外を選ぶ  
 ・1が選択されていると、チャンネルフェーダースタートができません。
- 2 を下へいっぱい絞る
- 3 **FADER START** CH1 をONにする
- 4 をスタートしたいタイミングで上げる  
 ・同時にデジタルターンテーブルが再生を始めます。

デジタルターンテーブルが再生開始後にチャンネルフェーダーを元の位置に戻すと、デジタルターンテーブルは設定ポイントに戻りスタンバイします。

## クロスフェーダーでスタートする

クロスフェーダー操作切換つまみがNORMALで、制御したいデジタルターンテーブルをCH1に接続した場合

- 1 **ASSIGN A** 1 2 3 4 を切り換えて、1を選ぶ
- 2 をスタートさせたいソースとは逆 (B) の方向へいっぱい絞る
- 3 **FADER START** CH1 をONにする
- 4 をスタートしたいタイミングで手順2と反対方向へスライドさせる  
 ・同時にデジタルターンテーブルが再生を始めます。

デジタルターンテーブルが再生開始後にクロスフェーダーを元の位置に戻すと、デジタルターンテーブルは設定ポイントに戻りスタンバイします。

## CH1とCH4のデジタルターンテーブルを交互にスタートする

クロスフェーダー操作切換つまみがNORMALの場合

- 1 **ASSIGN A** 1 2 3 4 **ASSIGN B** 1 2 3 4 を切り換えて、ASSIGN Aは1を、ASSIGN Bは4を選ぶ
- 2 をスタートさせたいソースとは逆 (B) の方向へいっぱい絞る
- 3 **FADER START** CH1 CH4 をONにする
- 4 をスタートしたいタイミングで手順2と反対方向 (A) へいっぱい絞る  
 ・CH1のデジタルターンテーブルが同時に再生を始めます。(CH4のデジタルターンテーブルが再生している場合は同時に設定ポイントに戻ります)
- 5 を手順4と反対方向 (B) へいっぱい絞る  
 ・CH4のデジタルターンテーブルが同時に再生を始めます。  
 ・CH1のデジタルターンテーブルは同時に設定ポイントに戻ります。

### お知らせ

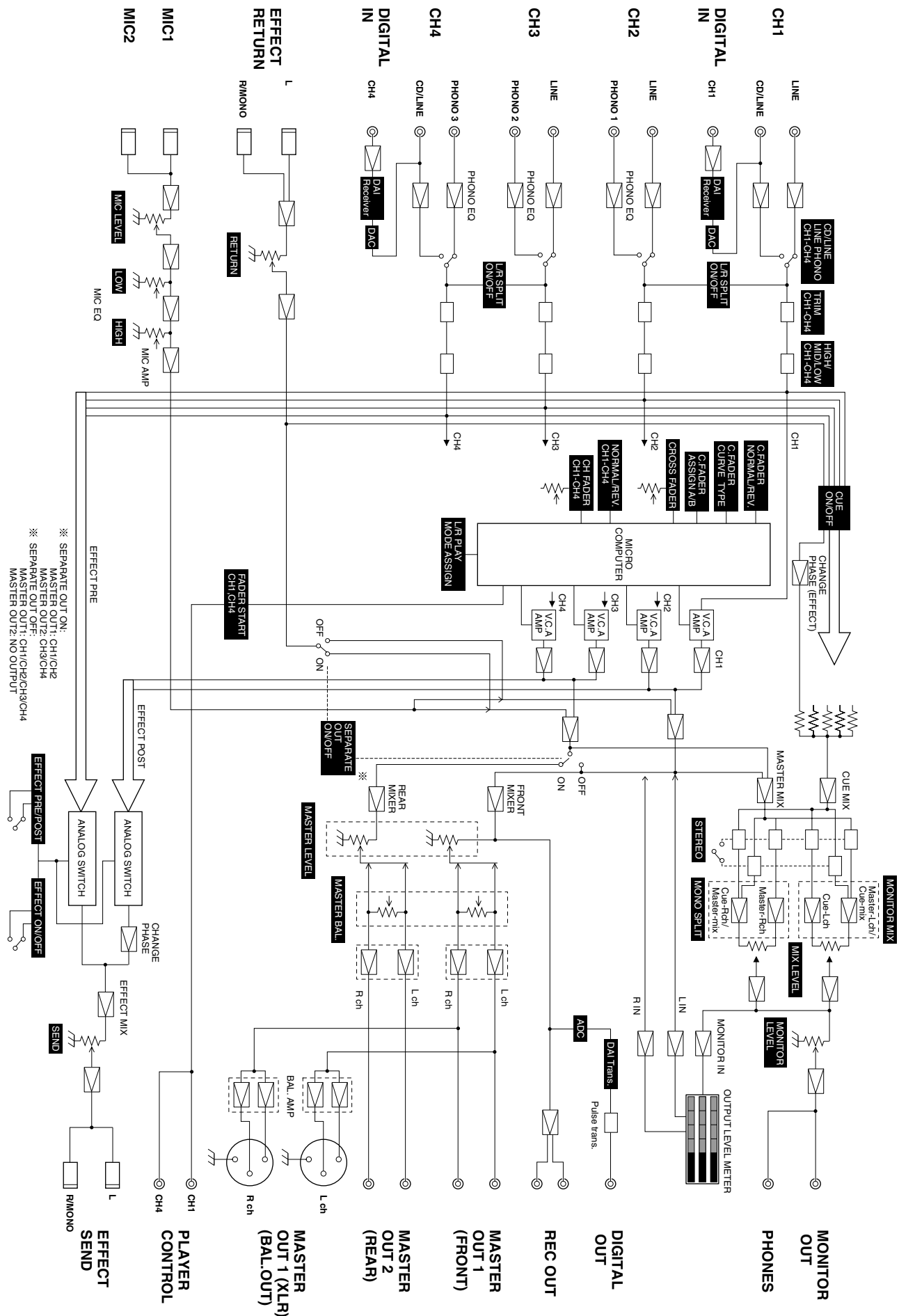
フェーダースタートの動作中に本機の電源を切、入すると、デジタルターンテーブルがストップまたはスタートすることがあります。

# ブロックダイヤグラム

マスタースタート機能を使う

使いかた  
必要なとき

ブロックダイヤグラム



# 主な仕様／お手入れ

## 主な仕様

### ■入力感度／入力インピーダンス

PHONO (TRIM center)	2.5 mV/47 k $\Omega$
LINE (TRIM center)	250 mV/10 k $\Omega$
EFFECT RETURN	250 mV/47 k $\Omega$
MIC	0.7 mV/1 k $\Omega$

### ■定格出力電圧／出力インピーダンス

MASTER 1、2 (RCA)	1 V/600 $\Omega$
MASTER 1 (XLR)	1 V/600 $\Omega$
MONITOR	1 V/1 k $\Omega$
REC OUT	250 mV/1 k $\Omega$
EFFECT SEND	250 mV/1 k $\Omega$
■ヘッドホン出力	30 mW/32 $\Omega$

### ■周波数特性

MASTER 1、2	20 Hz ~20 kHz
REC OUT	20 Hz ~20 kHz
EFFECT RETURN	20 Hz ~20 kHz
MIC	20 Hz ~20 kHz

### ■デジタルオーディオ入力

#### 同軸デジタル入力

##### 対応サンプリング周波数

48 kHz/44.1 kHz/32 kHz (PCM)

### ■デジタルオーディオ出力

#### 同軸デジタル出力

##### サンプリング周波数

44.1 kHz (PCM)

### ■イコライザー特性

#### CD/LINE/PHONO

LOW	+12 dB, -24 dB(50 Hz)
MID	+12 dB, -24 dB(1 kHz)
HIGH	+12 dB, -24 dB(10 kHz)

#### MIC

LOW	+12 dB, -24 dB(100 Hz)
HIGH	+12 dB, -24 dB(10 kHz)

### ■総合

電源 AC 100 V 50/60 Hz

消費電力 30 W

寸法(幅×高さ×奥行) 300 mm×103 mm×330 mm

質量 約 5.3 kg

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

## お手入れ

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤(中性)を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

### 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット  
シンボルマーク



# 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ
電源が入らない。	電源プラグがはずれていませんか。	確実に差し込む。	9
電源を入れても音が出ない。 音が小さい。	入力切替つまみを他のソースにしていますか。	入力ソースを確かめ、正しい位置にする。	10
	各機器の接続が間違っていますか。	正しく接続する。	8~9
	マスターレベルほか、各音量のつまみがMINになっていませんか。	各音量つまみを正しく調節する。	10~11
左右の音が逆になる。	各機器の左 (L)、右 (R) 端子が逆に接続されていませんか。	正しく接続する。	8~9
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具やその電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。	-
	ターンテーブルのアース線が外れていませんか。	アース線を正しく接続する。	9
フェーダー (スライドボリューム) の動きが悪い。	フェーダーが消耗していませんか。	新しいフェーダーと交換する。 販売店にご相談ください。	11
音が歪む。	マスターレベルまたはモニターレベルを上げすぎていませんか。	MASTER LEVELまたはMONITOR LEVELつまみを調節する。	10、12
	入力レベルが高すぎませんか。	TRIMつまみを回し、下げる。	10
外部エフェクターの音が歪む。	エフェクターからの入力レベルが高すぎませんか。	SENDまたはRETURNつまみを回し、下げる。	12
エフェクトが効かない。	エフェクト接続切替つまみがOFFになっていませんか。	使用チャンネルのエフェクト接続切替つまみをONにする。	12
フェーダーの動作が逆になる。	フェーダー操作切替つまみがREVERSEになっていませんか。	NORMAL側にする。	10
クロスフェードができない。	アサイン A、B 選択つまみの設定が間違っていますか。	<b>A</b> 、 <b>B</b> に割り当てる入力ソースを選ぶ。	10
ダイレクトドライブ デジタルターンテーブルをフェーダーでスタートできない。	フェーダースタート切替つまみがOFFになっていませんか。	使用チャンネルのフェーダースタート切替つまみをONにする。	14
	ミニコードを接続していますか。	コードを正しく接続する。	9
セパレート出力しない。	セパレートアウト切替つまみがOFFになっていませんか。	セパレートアウト切替つまみをONにする。	13

# 保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

## ■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、DJ ミキサーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

17ページの表「故障かな!？」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**  
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**  
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。次の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

## •修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料**は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代**は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料**は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## ご連絡いただきたい内容

品名	DJ ミキサー
品番	SH-MZ1200
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

## ご相談窓口におけるお客様の個人情報の お取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社(以下「当社」)は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報(以下「個人情報」)を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、テクニクス製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただきます。これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。  
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

## 修理に関するご相談

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口


ナビダイヤル  
(全国共通番号)  **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口へ直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

## 使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック お客様ご相談センター

365日/受付9時~20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-365**

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

よくお読みください

ナショナル パナソニック  
修理ご相談窓口

ナビダイヤル (全国共通番号)  **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口へ直接おかけください。

北海道地区

<b>札幌</b> 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	<b>帯広</b> 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
<b>旭川</b> 旭川市2条通2丁目1左1号 ☎(0166)31-6151	<b>函館</b> 函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631

近畿地区

<b>滋賀</b> 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021	<b>奈良</b> 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
<b>京都</b> 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636	<b>和歌山</b> 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
<b>大阪</b> 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	<b>兵庫</b> 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

東北地区

<b>青森</b> 青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712	<b>宮城</b> 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
<b>秋田</b> 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	<b>山形</b> 山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
<b>岩手</b> 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	<b>福島</b> 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

中国地区

<b>鳥取</b> 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	<b>岡山</b> 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162
<b>米子</b> 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	<b>広島</b> 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
<b>松江</b> 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	<b>山口</b> 山口市鑄銭司字鑄銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050
<b>出雲</b> 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	
<b>浜田</b> 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629	

首都圏地区

<b>栃木</b> 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555	<b>東京</b> 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
<b>群馬</b> 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109	<b>山梨</b> 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
<b>茨城</b> つくば市花畑2丁目8-1 ☎(029)864-8756	<b>神奈川</b> 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
<b>埼玉</b> 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	<b>新潟</b> 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171
<b>千葉</b> 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034	

四国地区

<b>香川</b> 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	<b>高知</b> 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142
<b>徳島</b> 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125	<b>愛媛</b> 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

中部地区

<b>石川</b> 石川県石川郡野々町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	<b>名古屋</b> 名古屋市長瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
<b>富山</b> 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	<b>岡崎</b> 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
<b>福井</b> 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	<b>岐阜</b> 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
<b>長野</b> 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209	<b>高山</b> 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
<b>静岡</b> 静岡市西島765 ☎(054)287-9000	<b>三重</b> 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

九州地区

<b>福岡</b> 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	<b>熊本</b> 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
<b>佐賀</b> 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	<b>天草</b> 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
<b>長崎</b> 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	<b>鹿児島</b> 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
<b>大分</b> 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	<b>大島</b> 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101
<b>宮崎</b> 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213	

沖縄地区

<b>沖縄</b> 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207	
---	--

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0105

保証センターサービス

必要なとき

# さくいん

<b>あ</b>	アース線	9
	アウトプットレベルメーター	10
	アンプ	8
	エフェクター	8
	エフェクト調整	12



<b>か</b>	カセットデッキ	8
----------	---------	---

<b>さ</b>	ステレオピンコード	8
	セパレート出力	13

<b>た</b>	ターンテーブル	9
	ダイレクトドライブ デジタルターンテーブル	9、14
	チャンネルフェーダー	10、14

<b>は</b>	左 (L)、右 (R) 分割調整	13
	ピンコード	8
	フェーダースタート機能	14
	プレイモード機能	13
	プレイモードランプ	13
	ブロックダイヤグラム	15
	ヘッドホン	8

<b>ま</b>	マイク	9、11
	ミキシング	10
	ミニコード	9
	モニター調整	12

<b>アルファベット</b>	ASSIGN A, B	10
	CURVE	11
	CDプレーヤー	9
	CH1 FADER	10
	CROSS FADER	10、14
	CUE CH1	12
	CUE EFFECT	12
	EFFECT	12
	FADER START	14
	HIGH	10、11
	L/R SPLIT	13
	LOW	10、11
	MASTER BALANCE	10
	MASTER LEVEL	10
	MIC LEVEL	11
	MID	10
	MODE	12
	LEVEL	12
	MIXING	12
	MONO SPLIT	12
	NORMAL	10
POWER  OFF  ON	10	
POWERランプ	10	
PRE/POST	12	
RETURN	12	
REVERSE	10	
SEND	12	
SEPARATE OUT	13	
TRIM	10	
THRU	11	

別売り品のご紹介 (2004年4月現在のものです。品番は変更されることがあります。)

<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイレクトドライブ デジタルターンテーブル : SL-DZ1200</li> <li>レコードプレーヤー : SL-1200MK5 SL-1200MK5G</li> <li>アンプ : SE-A1010</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイク : RP-VK120</li> <li>ヘッドホン : RP-DH1200/RP-DJ1200</li> <li>ステレオピンコード : RP-CAP3G10 (1.0 m)</li> <li>ピンコード (RCA同軸) : RP-CVPOG20 (2.0 m)</li> <li>ミニコード : RP-CAM3G15 (1.5 m)</li> </ul>
---	---

## 愛情点検

### 長年ご使用のDJ ミキサーの点検を！



こんな症状は  
ありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は、  
使用を中止し、故障や事  
故の防止のために、必ず  
販売店に点検をご相談く  
ださい。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	SH-MZ1200	
	販売店名					お客様ご相談窓口	
		☎ ( ) -				☎ ( ) -	



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

松下電器産業株式会社 ネットワーク事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社)  
All Rights Reserved.

RQT7229-2S  
M0404TK2025